

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科		科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科目名	聴覚系の構造・機能・病態		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対象学年	一年次		学期及び曜時限	後期 水曜2限 他	教室名	406教室 他
担当教員	糸賀 亜美	実務経験とその関連資格	医療福祉センターに勤務し、小児への言語聴覚療法の実務経験がある。また、専門学校で言語聴覚士の養成に携った。			
《授業科目における学習内容》						
聴覚系の末梢から中枢にいたる構造や神経機能、病態などを学ぶ。聴器の構造、聴覚機構、聴覚障害の病態を理解する。聴覚に関する医学的知識を習得する。						
《成績評価の方法と基準》						
筆記試験(100点)で評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
【教科書】 「標準言語聴覚障害学 聴覚障害学」 医学書院 【参考図書】 STEPシリーズ 「耳鼻咽喉科学」第3版 海馬書房						
《授業外における学習方法》						
毎回の講義で学習した内容について、教科書を見ながらノートにまとめて理解する。						
《履修に当たっての留意点》						
講義の初めに確認プリントを実施する。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	聞こえの概要について理解でき、説明できる。外耳の解剖と機能について理解でき、説明できる。	教科書 プリント	・講義の内容について、配布プリントを見ながら、ノートにまとめて理解する。	
		各コマにおける授業予定	聴覚器の解剖と機能①			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	中耳・内耳の解剖と機能について理解でき、説明できる。	教科書 プリント	・講義の内容について、配布プリントを見ながら、ノートにまとめて理解する。 ・確認プリント実施	
		各コマにおける授業予定	聴覚器の解剖と機能②			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	聴覚中枢の解剖と機能について理解でき、説明できる。	教科書 プリント	・講義の内容について、配布プリントを見ながら、ノートにまとめて理解する。 ・確認プリント実施	
		各コマにおける授業予定	聴覚器の解剖と機能③			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	前庭・半規管の解剖と機能について理解でき、説明できる。	教科書 プリント	・講義の内容について、配布プリントを見ながら、ノートにまとめて理解する。 ・確認プリント実施	
		各コマにおける授業予定	聴覚器の解剖と機能④			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	難聴の種類、特徴、検査について理解でき、説明できる。	教科書 プリント	・講義の内容について、配布プリントを見ながら、ノートにまとめて理解する。 ・確認プリント実施	
		各コマにおける授業予定	聴覚器の病態①			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	聴覚器の病態について理解でき、説明できる。	教科書 プリント	<ul style="list-style-type: none"> ・講義の内容について、配布プリントを見ながら、ノートにまとめ理解する。 ・確認プリント実施
	講義形式	各コマにおける授業予定	聴覚器の病態②		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	聴覚器の病態について理解でき、説明できる。	教科書 プリント	<ul style="list-style-type: none"> ・講義の内容について、配布プリントを見ながら、ノートにまとめ理解する。 ・確認プリント実施
	講義形式	各コマにおける授業予定	聴覚器の病態③		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	聴覚器の病態について理解でき、説明できる。	教科書 プリント	<ul style="list-style-type: none"> ・講義の内容について、配布プリントを見ながら、ノートにまとめ理解する。 ・確認プリント実施
	講義形式	各コマにおける授業予定	聴覚器の病態④		